

生研ニュース

☆受 賞☆

第5部 後藤 滋研究員は昭和40年5月28日、日本建築学会より論文「送風設備の騒音制御に関する研究」によって、昭和39年度学会賞を授与された。

☆写真測量講習会☆

全国工業高等学校長協会、東日本高校土木教育研究会日本写真測量学会主催で、文部省後援のもとに東日本の工業高等学校と農業高等学校の先生方を対象として、写真測量の講習会が8月2, 3, 4日開かれた。講義と見学、実習で参加者は65名であった。講義は新宿区富久町の都立小石川工業高校で行なわれ、本所関係ではつぎの諸氏が講義を行なった。

写真測量の基本 第5部 教授 丸安隆和
 写真測量の土木工学への応用 “ 助手 中村英夫
 地上写真測量の原理と応用 “ 助手 大島太市
 第3日目の実習は本所3階会議室で行なわれ、主として射線法による菱形銳の組み方、点位置および標高測定法の簡易図化の方法を鏡式実体鏡を用いて行なった。これらの点はA7オードグラフの測定点と精度比較を行なった。この種の実習は高等学校教育にもあまり取り入れられておらず、先生方も最初はなれない手つきで苦勞をされたが、会の終わるころには要領もわかり、この種の講習会がさらに今後開かれて写真測量教育をいっそ

う高めてほしいという声が多かった。

さらに8月9, 10日文部省主催の昭和40年度高等学校産業教育実技講習会が東京教育大学農学部で行なわれ、全国の高等学校の代表の先生約50名が参加、写真測量の講義と実習が行なわれた。本所よりは8月9日に写真測量の概論という題目で大島助手が一日出講した。

☆講 演☆

- ◇教授 雀部高雄「直接製鉄法について」日本金属学会東北大学金属材料研究所講堂において (1965. 6. 19)
- ◇講師 梅谷陽二「やさしい自動制御に関する講習会」日本機械学会、第241回講習会、社会文化会館において (1965. 7. 9, 7. 22)
- ◇教授 浅原照三「フリーラジカル重合」科学技術協会、ブリヂストン・ホールにおいて (1965. 7. 13)
- ◇助手 合田周平「神経細胞モデル IMICTRON の解析」第4回計測自動制御学会学術講演会、No. 524 神戸大学において (1965. 7. 18)
- ◇助手 合田周平「制御理論による最適治療の決定」日本ME学会、生体工学研究会、東京大学医学部会議室において (1965. 7. 26)
- ◇助教授 北川英夫「腐食性その他の環境中での疲労(1回)」日本学術振興会第97委員会、三菱重工業KK本社会議室において (1965. 7. 28)
- ◇助手(特別研究員) 朝倉利光「光学情報の処理(II): コヒーレント・ビームの役割」第3回サマー・セミナー(応用物理学会光学懇話会主催)、長野県岡谷市精密工

次号予告(10月号)

研究解説

PCM テレメータにおけるフレーム同期	神安野	子田村	富靖民	雄彦也
溶剤回収における物質移動係数	河添邦太朗			

研究速報

高周波焼入れした鋼中空試験片の腐食疲れ強さ —高周波焼入れ鋼の疲れ強さの検討—	北堀細	川内井	英正清	夫明忠
微動による工作機械の動的特性の測定	佐武	藤藤	寿敏	芳昭
定常流停止後の応力緩和—Na-Polyacrylate 溶液の最長緩和機構—	黒中	岩村	城亦	雄夫
ガンタンネルによる極超音速気流の実験	難玉	田木	元章	紀夫

業試験所において (1965.8.24)

☆寄稿☆

◇助手 合田周平「がん患者の最適治療決定の一方法」計測と制御, 計測自動制御学会誌 4, 5, 332~339 (1965.5)

◇教授 菊池真一, 元菊池研究室員 吉永忠司, 研究生 望月祐子「低照度感光系の試作とその応用について」日本写真学会誌 28, 2 (1965.6) (これは天文用などに用いる弱い光に高い感度をもつフィルムには普通の感光計が用いられないので, 当所で特別それに適する感光計を試作したものである)

◇助手(特別研究員) 朝倉利光「Quasi-Optics (準光学)とその周辺」光学技術コンタクト, 3, 3, 2~8(1965.7)

◇助手(特別研究員) 朝倉利光「ホログラムの実験」自然, 20, 8, 50~51 (1965.8)

◇助手(特別研究員) 朝倉利光「光学情報の処理(II): コーヒーレント・ビームの役割」第4回サマー・セミナー“これからの光学機械”論文集 (1965.8)

◇教授 雀部高雄「材料革新の新しい時代と科学の動き」科学 (1965.8)

◇教授 山辺武郎「イオン交換膜 応用I 概説」(ion-exchange 講義シリーズ(9)) 電化 33, No. 8, 599~603 (1965.8)

◇教授 浅原照三, 大学院学生 雑賀大貳「脂肪族過酸化物とハロゲンとの反応に関する研究」(第2報), 油化学, 14, 284 (1965)

◇教授 浅原照三, 研究員 石黒鉄郎「無水硫酸による脂肪酸の α -スルホン化に関する研究」(第4報), 油化学, 14, 284 (1965)

◇講師 梅谷陽二「晶析装置の自動制御」総説, 化学工学, 29, 9 (1965)

☆海外渡航☆

◇第5部 坪井善勝教授はサウジアラビア王国々立競技場建設立案打合せ, ならびに各国における都市計画視察調査のため7月22日出発し中近東数カ国を視察して9月4日帰国の予定。

◇第5部 石井聖光助教授はベルギーにおいて開催される第5回国際音響学会議に出席, ならびに西ドイツおよびアメリカにおいて同会議に関連する建築環境学上の諸問題について研究調査のため8月15日出発し, 10月15日帰国の予定。

◇第4部 坂田俊文助手はイタリーポロニア大学へ留学中のところ, 1年の滞在延期を許可されて, 今回はドイツ・ミュンヘン大学シュワブ教授のもとで研究を継続することになった。

☆人事☆

◇第5部 井口昌平助教授は教授に昇任した(1965.8.1)

◇第1部 本間慎一助手は講師に昇任した(同上)



筆者紹介

◇永井昌平 研究生(オリンパス光学KK)
◇朝倉利光 助手(特別研究員)工博 専攻 応用光学
◇猪瀬博 東大工学部教授 工博 専攻 電子工学
◇高木幹雄 助教授 工博 専攻 応用電子工学
◇高橋安人 カリフォルニア大学教授(元生研教授)

◇館 充 助教授 工博 専攻 鉄鋼製錬工学
◇中根千富 助手 専攻 同上
◇桑野芳一 技官 専攻 同上
◇山村 武 技術補佐員 専攻 同上

出版委員

出版委員長 菊池 真一	委員 佐藤 寿芳	委員 早野 茂夫	専門委員 星野 昌一
委員 成瀬 文雄	藤井 陽一	石井 聖光	川井 忠彦
富永 五郎	*安田 靖彦	越 正毅	
水町 長生	西川 精一		編集室 水野 晴明
*高橋 幸伯	後藤 信行	*印当番委員	

第17巻 第9号

生産研究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として, 毎月1回発行する)

1965年9月1日 発行

印刷所 三美印刷株式会社
東京都荒川区日暮里町 8-93

頒価 90円

編集者 菊池 真一
発行者 岡本 舜三

発行所 生産技術研究奨励会
東京都港区麻布新電土町10
電話 (402) 1331 (代表)